第明三治二十五種郵便物認可

（追加情報）
当事業年度より、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」（「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」の改訂について」（国立大学法人会計基準等検討会議　平成21年７月28日））及び「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」（文部科学省、日本公認会計士協会　平成22年３月24日最終改訂）を適用しております。

（貸借対照表の注記）
運営費交付金から充当されるべき賞与見積額及び退職給付費用見積額

賞与見積額	327,004,896円
退職給付費用見積額	4,274,869,481円

（キャッシュ・フロー計算書の注記）
⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	2,886,659,108円
定期預金	△450,000,000円
資金	2,436,659,108円

⑵　重要な非資金取引
寄附受による資産等の取得

建物	14,725,758円
構築物	14,234,842円
船舶	3,714,900円
工具器具備品	22,299,593円
図書	4,578,170円
少額備品等	27,205,920円
計	86,759,183円

（国立大学法人等業務実施コスト計算書の注記）
⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法
近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
平成22年３月31日付け新発10年国債の利率1.395％を使用しています。

（減損に関する事項）
⑴　減損を認識した固定資産に関する事項
①　空調機（越中島キャンパス２号館）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育研究用設備）、種類（建物附属設備）、場所（東京都江東区）、帳簿価額（229,048円）
⑵　減損の認識に至った経緯
設備の老朽化により、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：229,048円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
②　上屋（品川キャンパスオートバイ置場）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育用設備）、種類（構築物）、場所（東京都港区）、帳簿価額（1,296,554円）
⑵　減損の認識に至った経緯
新営建物の敷地とすることに伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：1,296,554円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
③　水道外４件（越中島キャンパス学生寮共用棟、３寮及び４寮）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育用設備）、種類（建物附属設備）、場所（東京都江東区）、帳簿価額（1,143,275円）
⑵　減損の認識に至った経緯
建物改修に伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：1,143,275円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
④　上屋（品川キャンパス国際交流会館ゴミ置場）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育用設備）、種類（建物附属設備）、場所（東京都港区）、帳簿価額（309,256円）
⑵　減損の認識に至った経緯
土地売却により本学敷地外になったことに伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：309,256円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
⑤　下水道外２件（品川キャンパス大学会館）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育用設備）、種類（建物附属設備）、場所（東京都港区）、帳簿価額（177,273円）
⑵　減損の認識に至った経緯
建物改修に伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：177,273円
⑷　使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行いました。
⑥　水道外11件（越中島キャンパス第１実験棟）
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用途（教育用設備）、種類（建物附属設備）、場所（東京都江東区）、帳簿価額（8,148,749円）
⑵　減損の認識に至った経緯
建物改修に伴い、当該資産を除却するという決定をしたため。
⑶　減損額の内訳
減損額のうち、損益計算書上に計上した金額：０円、損益計算書上に記載していない金額：8,148,749円